

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民文化ホール	所管課	県民生活部 生涯学習文化課
所在地	甲府市寿町26-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年11月23日
指定管理者	アブレーション・共立・NTT-F共同事業体		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例		
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、県民文化ホールを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 約21,635㎡ ○建築面積 約9,259㎡ ○建築延床面積 約20,018㎡ ○建物の構造 地上4階、地下1階、塔屋1階、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造り ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール(客席、ホワイエ含む) 約3,594㎡ 定員:1,989人 ・小ホール(客席、ホワイエ含む) 約1,725㎡ 定員:700人 ・練習室、リハーサル室、楽屋、会議室 約1,455㎡ ・県民ロビー 約179㎡ ・事務室、機械室、倉庫等 約12,977㎡ ・駐車場 約5,614㎡ ・レストラン(客席、厨房) 約237㎡ 定員:約100人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 利用の承認に関する業務 (2) 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3) 文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4) 舞台芸術の公演の実施に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 甲府市総合市民会館(アリーナ形式) 大ホール(2,000人)、小ホール(300人) (2) 河口湖ステラシアター(野外施設) 大ホール(3,000人)、小ホール(200人) (3) 東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人)
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	320,486	331,911	320,165	
	事業参加者	30,587	33,965	39,345	
	利用者数合計	351,073	365,876	359,510	
	目標値	350,000	340,000	344,000	350,000
	目標値設定の考え方及びその理由	平成24年度の実績を基に、平成26年度以降の5カ年の目標値を設定。			
	対25年度比	-	104.2%	102.4%	99.7%
利用率	66.3%	66.8%	65.4%	66.0%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	118,076,050	119,017,000	113,727,710	120,096,000
	指定管理者委託料	161,713,000	161,712,000	161,712,000	161,713,000
	その他	53,525,376	57,150,000	56,807,471	57,150,000
	収入合計(A)	333,314,426	337,879,000	332,247,181	338,959,000
支出	人件費	104,029,920	103,371,000	104,029,920	103,371,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	223,478,828	234,508,000	224,972,333	235,588,000
	うち外部委託費(B)	88,132,428	88,132,000	88,132,428	88,132,000
	支出合計(C)	327,508,748	337,879,000	329,002,253	338,959,000
収支差額(A-C)	5,805,678	0	3,244,928	0	
外部委託比率(B÷C)	26.9%	26.1%	26.8%	26.0%	
利用者一人当たりの経費	442.0	470.1	449.8	462.0	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年7月～平成28年3月 実施方法:貸館利用者へのアンケート 回答数:666人(回収率:81.8%)
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の充実度	89.2%	9.3%	1.2%	0.3%
②音響照明設備	90.1%	8.8%	1.1%	0.0%
③通路やロビー	90.9%	7.6%	1.2%	0.3%
④窓口	93.5%	6.0%	0.5%	0.0%
⑤サービス内容	92.3%	7.1%	0.3%	0.3%
施設全般の満足度	91.1%	8.0%	0.8%	0.2%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①全般的に館内の照明施設が暗い。 ②指揮台のキャスターがうるさい。 ③会議室にピンマイクが欲しい。 ④備品の老朽化が目立つ。(楽屋内) ⑤駐車場を増やして欲しい。 ⑥楽屋にウォシュレットのトイレが欲しい(同様の要望他に5件)
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①当ホールは文化芸術施設の要素として全般的に暗めを基調とした設計になっている。ここ数年同様の意見を頂いており、小ホールホワイエについては平成28年度の修繕計画に盛り込んだ。但し、緊急性の高いものからの対応になるので、実施できるかは不透明。 ②調査した結果、経年劣化に伴い破損が見られたため、新規購入することとした。 ③必要と思われるため、平成28年度購入予定。 ④楽屋内の備品(机、椅子等)は確かに老朽化が進んでいる。優先順位をつけて、長期的な計画を立てて入れ替える予定。 ⑤現状からの拡張は非常に難しい。周辺の民間駐車場への誘導、公共交通機関の利用を案内している。 ⑥取り急ぎ1ヶ所については平成28年度初頭に対応予定。他については平成29年度の修繕計画予定。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。 省エネルギー対策を継続して実施するとともに、冷温水発生器の燃料を、熱の変換効率に優れたものを採用し、寒いときには灯油を、暑いときには都市ガスを使用することにより、コストダウンを図った。	施設及び設備器具の維持保全に関する業務計画書のとおり維持管理が適切に行われた。また、施設の老朽化に伴い、適切な点検を行うとともに、必要な修繕があれば修繕工事を実施するなどして、引き続き施設の安全管理、維持管理に努めること。
運営業務	文化芸術・舞台芸術の公演の実施業務では、県民を出演者やスタッフとした舞台作品の創作や、ステージアートを体験するワークショップを開催し、一人でも多くの人が文化活動に参加する機会の創出に務めた。併せて、地方都市での公演が難しい優れた公演を招致し、鑑賞機会の拡大も図った。	業務計画書に基づき積極的な事業展開を図った。中でも、文化芸術・舞台芸術等の公演では、ワークショップなどの県民参加型事業を取り入れるなど、県民の文化活動参加意欲を向上させるよい取り組みと評価する。今後も、本県の文化芸術の振興につながる積極的な取り組みを行ってほしい。
利用状況	利用者数は、359,510人となり、対前年で1.8%の減となったが、目標値は達成できた。大・小ホール稼働率も平均1.4%の減となった。数年間隔で実施される大規模なコンクールが本年は無かった事が要因のひとつとして挙げられる。	利用者数は対前年比で1.8%の減となったが、3年連続で35万人を超えた。利用者ニーズを把握するとともに、魅力あるイベントを実施、誘致するなどして、ホールの稼働率を増加させ、更なる利用促進を図ること。
収支状況	利用料が対前年で減となったが、光熱水費を柱とした経費節減対策を徹底して実施した結果、収支を黒字とすることが出来た。	収支状況に関しては、施設利用料が前年に比べて減となってしまったが、全体的には昨年度なみの収入となった。また、光熱水費等で経費節減対策が図られた事は評価する。今後も、経費節減対策に努めるとともに収入増となるような事業展開を行うこと。
自主事業	今年度は、県民が文化活動に関わる機会を拡大するためのワークショップや創作作品の公演を、自主事業としても実施した。今後も、経営の安定化を図りながら、より多くの公演を実施できるように取り組んでいきたい。	県民が気軽に、参加・鑑賞できる自主事業実施に取り組んだ。今後も、より多くの県民が文化活動に参加できる機会を創出してほしい。
利用者満足度	施設全般の満足度で、99.1%の利用者から「満足」「どちらかと言えば満足」との評価をいただいた。職員一同がハード、ソフトの両面について、日頃から100%の満足をいただける様、意識を持って業務にあたっている結果だと思われる。残り0.9%の利用者にも「満足」をいただける対応を心がけることとする。	施設全般の満足度で、99.1%という高い評価を得ている。他の調査項目においても、98%以上の高い満足度の評価を得ている。常に、利用者ニーズを把握し、利用者の意見に真摯に対応しながら、管理運営業務に取り込むことにより、満足度が100%となるよう更に努力されたい。
運営目標の達成状況	利用者数は、対前年比で1.8% (6,366人)と減少したが、目標値である344,000人は上回ることが出来た。 大・小ホールの稼働率も、対前年比で平均1.4%減少となった。 収支状況は、施設利用料が対前年に比べて減少したが、事業収入の増加により、全体的には昨年度なみの収入額を確保できた。 利用者満足度では、施設全体の満足度が「満足」・「どちらかといえば満足」をあわせて99.1%と高い評価を得た。	

<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>維持管理業務、運營業務等は、提案書、協定書、業務計画書等に基づき、概ね適正に執行された。また、経費節減や事業の積極的な展開を図るなど、適切な運営管理に努めている。</p> <p>利用者数は、対前年比で1.8%の減少となったが、平成25年度に35万人を超えてから3年連続で35万人超えを維持している。利用者数が減少となった要因としては、大・小ホール稼働率の減少が考えられる。平成28年度は、更なる積極的な事業展開、広報活動等により、施設稼働率の向上と利用者数の増加を図られたい。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>大手プロモーター、アーティスト事務所に対しての営業活動を更に強化する。特に、2020年の東京オリンピックに向けて、都内の劇場やコンサートホールの改修や建て替えが行われるほか、老朽化に伴う施設の閉鎖など、コンサート用の施設が今後不足することが懸念されている。これをチャンスと捉え積極的に働きかけを行いたい。</p> <p>また、利用者の増加、稼働率のアップを図るため、すでに実施しているテレビ、新聞での広報活動の効果を再検討し、より効果が期待できる内容に刷新する。今後も、県民に愛されるホール作りに取り組んでいく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在

